

【連続公開セミナー@立教大学】

岩波文庫から刊行中の吉川一義氏による

新訳で プルーストを 読破する

7

第7回「ゲルマントのほう Ⅲ」

2018年10月6日（土）14:00-16:00

立教大学池袋キャンパス

太刀川記念館カンファレンス・ルーム

講師 **高樓 方子** 氏（作家）

司会 **坂本 浩也**（立教大学教授）

失われた時を求めて

7 ゲルマントのほう Ⅲ

プルースト作
吉川一義訳



岩波文庫

主催 立教大学文学部文学科
問合せ先 学部事務1課（03-3985-3392）
proust.rikkyo@gmail.com
Twitter [@proust_rikkyo](https://twitter.com/proust_rikkyo)

申込不要・入場無料、定員100名（先着順）。
テキスト（プルースト作・吉川一義訳『失われた時を求めて』第7巻「ゲルマントのほう Ⅲ」岩波文庫、2014年）を通読して、ご持参ください。



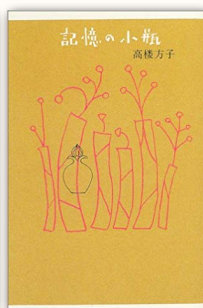
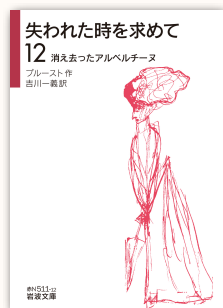


公開セミナー「新訳でプルスを読破する」第7回 講師紹介

高楼 方子（たかどの・ほうこ）氏

函館市生まれ。東京女子大学文理学部日本文学科卒業。絵本に『まあちゃんのながいかみ』（福音館書店）「つんつくせんせい」シリーズ（フレーベル館）、童話に「へんてこもり」シリーズ（偕成社）『ルウルウおはなしして』（岩波書店）、高学年向きの近著に『街角には物語が……』（偕成社）、『4ミリ同盟』（福音館書店）、翻訳に『小公女』（福音館書店）、エッセイに『記憶の小瓶』（クレヨンハウス）、『老嬢物語』（偕成社）など、著書多数。

『いたずらおばあさん』（フレーベル館）で路傍の石幼少年文学賞、『キロコちゃんとみどりのくつ』（あかね書房）で児童福祉文化賞、『十一月の扉』『おともださにナリマ小』（フレーベル館）で産経児童出版文化賞、『わたしたちの帽子』（フレーベル館）で赤い鳥文学賞・小学館児童出版文化賞を受賞。



昨年秋に始まったプルス・マラソンも第7回、気づくと折り返し地点です。

全篇最大の難所と見なされる『ゲルマントのほう』。ついに「私」が招待された憧れのゲルマント公爵夫人邸の晩餐会と夜会。その描写だけで300ページ近いとなると、怖気づく読者がいるのも理解できます。

しかし、そもそもなぜ、プルスは長々と社交の場面を描いたのでしょうか？ 私たちはどんな心構えで、上流貴族の会話に耳をすませばよいのでしょうか？ 読みどころは語り手のコメントにあるのでしょうか？

今回、講師にお迎えするのは、幼年時代をあざやかに振り返るすばらしいエッセイ『記憶の小瓶』や、謎の木の実をめぐる物語『4ミリ同盟』で随所にプルスとの親和性を感じさせ、『老嬢物語』で文学や映画（さらには現実）における「おばあちゃん」のイメージを縦横無尽に論じた児童文学作家・高楼方子さん。

まず、いくつかのセリフをピックアップして、7巻までの名場面を振り返りながら、『失われた時を求めて』における回想と「老嬢」的な登場人物の特徴を考察します。そして、プルスがなぜ、社交の場面にかぎらず、些細にも見える滑稽なことから執拗に書き続けたのか、実作者の観点もまじえて検討していただきます。

特別企画として、**セリフ当てクイズ**を予定していますので、この機会にぜひ、これまでの巻も少し読みなおしてみてください（正解者には特製しおりを進呈）。

全14回のゲストとスケジュール（予定＊）

毎回ゲスト講師をお招きしますが、プルス研究の専門家にとどまらないのが、この企画の特色です。

学術的な知見を紹介するだけでなく、ゲスト個人の思い入れのある場面や登場人物をとりあげて、「誤読」や「妄想」的な解釈をおそれずに、プルスの読みどころを語っていただきます。

- | | | | |
|---|---------|-------------|------------|
| ① | 吉川一義氏 | （京都大学名誉教授） | 2017/10/21 |
| ② | 工藤庸子氏 | （東京大学名誉教授） | 2017/12/9 |
| ③ | 石橋正孝氏 | （立教大学助教） | 2018/2/17 |
| ④ | 湯沢英彦氏 | （明治学院大学教授） | 2018/4/28 |
| ⑤ | 根本美作子氏 | （明治大学教授） | 2018/6/23 |
| ⑥ | 阿部公彦氏 | （東京大学教授） | 2018/8/25 |
| ⑦ | 高楼方子氏 | （作家） | 2018/10/6 |
| ⑧ | 野崎歓氏 | （東京大学教授） | 2018/12/1 |
| ⑨ | 青山七恵氏 | （作家） | 2019/1/12 |
| ⑩ | 小黒昌文氏 | （駒澤大学准教授） | 2019/3/2 |
| ⑪ | 青柳いづみこ氏 | （ピアニスト、文筆家） | 2019/4 |
| ⑫ | 中野知律氏 | （一橋大学教授） | 2019/6 |
| ⑬ | 柴崎友香氏 | （作家） | 2019/8 |
| ⑭ | 吉川一義氏 | （京都大学名誉教授） | 2019/10 |

＊諸事情により変更する場合があります。時間・教室とあわせ、Twitterや立教大学HPでご確認ください。

（司会：坂本浩也）

本研究は、JSPS 科研費 JP 18K00490 の助成を受けています。